

第40回 福谷恒太郎賞 特別支援教育実践論文募集要項

(2020年度)

滋賀県特別支援教育研究会

「第40回福谷恒太郎賞」の論文（特別支援教育の実践論文）を募集いたします。

この賞は、元滋賀県特殊教育研究会長の故福谷恒太郎先生ふくたにつねたろうの御芳志を基金として、本研究会が独自に設けているもので、広く県下の特別支援教育に携わる方々から実践論文を公募し、優秀論文に対して表彰するものです。

次の9部門に分けて募集いたします。ふるってご応募下さい。

【募集部門】

- ①知的障害教育
- ②自閉症・情緒障害教育
- ③肢体不自由教育
- ④難聴教育
- ⑤病虚弱教育
- ⑥弱視教育
- ⑦通常学級における発達障害教育
- ⑧通級・ことばの教室
- ⑨就学前特別支援教育

【募集対象および提出書類】

- ・個人（または団体、グループ）の特別支援教育に関する実践報告等を募集する。（校内全体で取り組まれた研究物をご遠慮ください。）
- ・個人研究を主とするが、共同研究の場合は代表者を1名明記すること。
- ・今までに一般機関紙、教育誌等に公表されたものでないこと。

・提出書類は次の3点。

(1) 実践論文。前記の内容をワープロ原稿(WORDまたは一太郎)で作成すること。体裁は、A4サイズ、文字10.5ポイント、43字×40行、余白は上下左右とも25mmで5ページ以上10ページ前後をめやすにまとめること。

(図表等を含む) 原稿と原稿が入ったCD-Rを提出すること。

(2) 400字程度の要約。(用紙はA4サイズ、文字10.5ポイント)

要約原稿と原稿内容を上記のCD-Rに保存し提出。

(3) 応募者の略歴書。(書式は県特研のホームページにアップします)

(<https://www.edu.shiga-u.ac.jp/ft/>)

※個人が特定されないなど写真、個人情報保護の配慮をお願いします。

(県の個人情報保護条例を参考にしてください。)

【応募先】

〒520-0002
大津市際川3丁目9番1号 滋賀大学教育学部附属特別支援学校内
滋賀県特別支援教育研究会 福谷賞事務局 武田 義弘 宛
(学校077-522-6569)

【締め切り】

令和3(2021年)1月29日(金)必着(厳守)

【発表】

- ・部門別に優秀論文を1～3点選考する。
- ・次点も含めて選考結果は本人に通知する。
- ・優秀論文は本会機関紙や研究紀要に掲載し、広く県下に公表する。
- ・優秀論文には、賞状と副賞(賞金)が贈られる。(賞金額は未定)

◎ 論文の書き方で大切にしたいこと

事象を実践に高めるには、根拠に基づいた実践である必要があります。根拠とは、子どもの特性がわかるように、基礎となる障害等の実態分析をすることで明らかになるのです。そして、その根拠から仮説や方策を設定し、実践を論文の体裁で記載してください。次に実践を分析・検証し、結果と課題としてまとめてください。根拠に基づく実践論文は一般化され、客観性や説得力を持つこととなります。

先生方の手法を次に繋ぎ、追体験するためには、成果や進歩を数量化していく等「実践を科学する」視点も必要になってきます。根拠に基づいた実践を論文としての体裁でおまとめいただき、福谷恒太郎賞論文募集の際には、県下各地から、教育実践を多数応募いただきますことをご期待申し上げます。

【重要】◎「実践論文の書き方」

以下の項立てを参考にして頂けると幸いです。

【事例の報告の場合】

- I. はじめに
実践事例報告等についての意義
 - II. 方法
 1. 対象事例
 2. アセスメント
 3. 指導仮説
 4. 指導目標
 - III. 実践内容
 1. 指導内容
 2. 指導教材・指導形態等
 3. 結果
 - IV. 考察
 1. 結果の考察
 2. 今後の課題
- ◎参考引用文献

【実践の研究の場合】

- I. 問題の所在と目的
 1. 本研究の意義、先行研究との関連等
 - II. 方法
 1. 方法、対象、期間
 - III. 結果
 1. 経過と結果
 - IV. 考察
 1. 結果の考察
 2. 今後の課題
- ◎参考引用文献